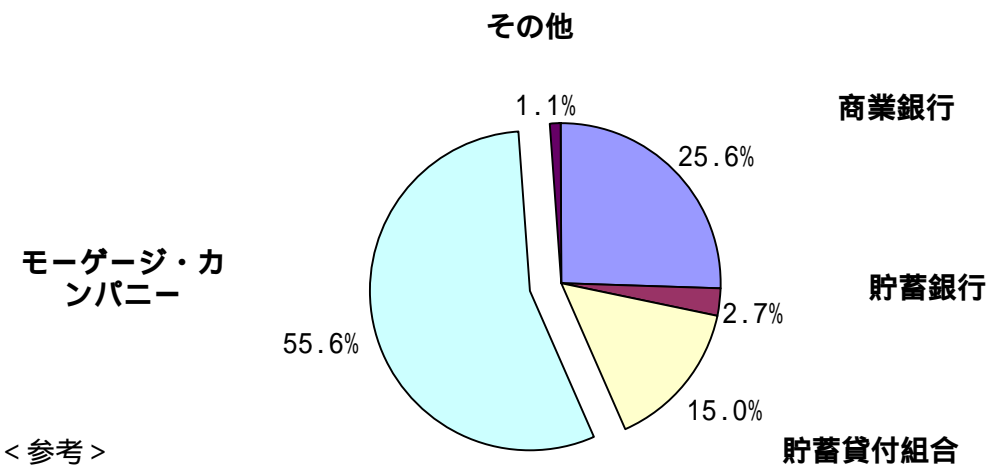


## 米国の住宅金融

### 新規融資

米国における新規住宅ローンは、商業銀行等とモーゲージ・カンパニーによる割合が高い。公的機関の直接融資は少ないが、近年、連邦住宅貸付銀行（FHLB）による直接融資が急増している。  
 （参考）FHLBによる直接融資の残高：1999年末 18億ドル（シェア 0.03%） 2000年末 154億ドル（シェア 0.3%）

<米国（1997年）>

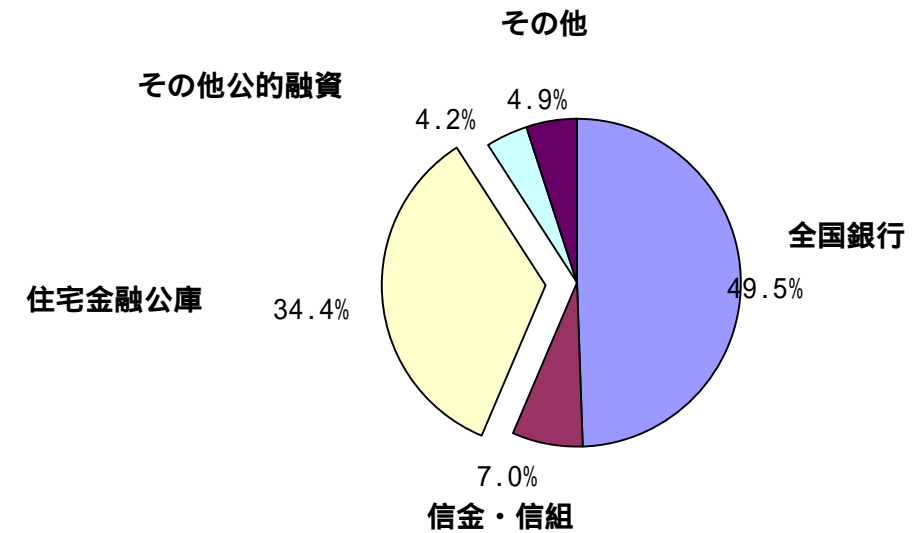


<参考>

過去のシェア	1970年	1990年
貯蓄貸付組合	41.6%	26.4%
モーゲージ・カンパニー	25.0%	35.2%

（資料）U.S Housing Market Conditions

<日本（2000年度）>

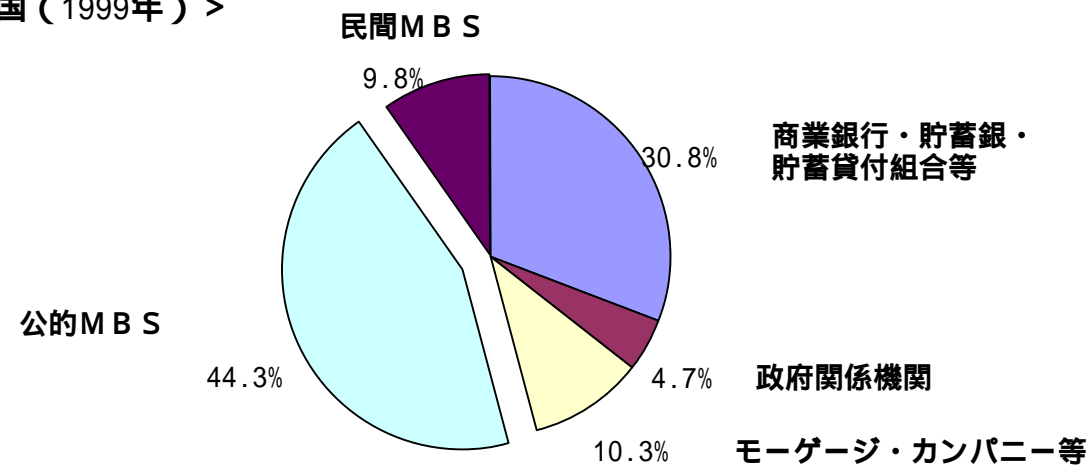


（資料）日本銀行「金融経済統計月報」等

### 融資残高

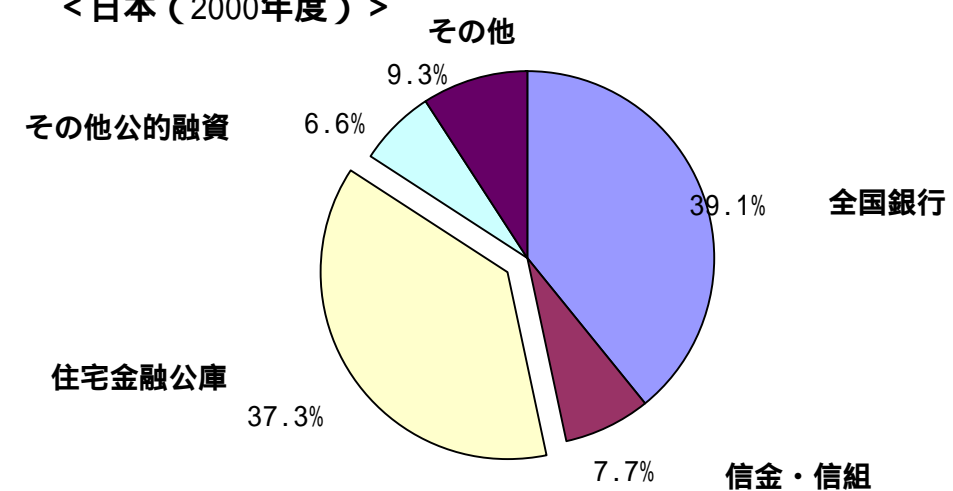
新規融資に占める割合が最も大きいモーゲージ・カンパニーは、住宅ローンをあまり保有せず、公的機関による保証を付けて、公的MBSとして投資家に売却している。これに対して、商業銀行・貯蓄銀行・貯蓄貸付組合は、新規融資額の割合に比して、残高の割合が著しく小さくなく、住宅ローンを保有し、利鞘の確保を図っていることが伺える。

<米国（1999年）>



（資料）Federal Reserve Bulletin

<日本（2000年度）>



（資料）日本銀行「金融経済統計月報」等